

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	境界明確化作業など 集約化活動に取り組む者	集約化を図り、施業の効率化、低コスト化を図る。
現状・課題	林業事業者が所有者と契約を締結し、施業集約や境界明確化事業を実施し、その事業者に対して交付金を交付しているが、所有者の同意が得られにくい事が多く計画よりも事業が進んでいない。	
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	中野市森林整備地域活動支援交付金等交付要綱
事務事業概要	交付対象者に対し、協定期間中の対象行為の実施状況の確認を行う。 交付金の交付を行う。	
令和３年度 の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	森林整備地域活動支援交付金の交付	１団体

事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	2,700,000	4,720,000	4,399,000
		補正・流用等	円		8,050,000	－
		合計	円	2,700,000	12,770,000	4,399,000
	決算（見込）額 A		円	2,700,000	6,593,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円	1,315,000	4,609,000	2,199,000
		県支出金	円	675,000	992,000	1,100,000
		市債	円			
		その他特定財源	円			500,000
	R2は予算額	一般財源	円	710,000	992,000	600,000
	正規職員数		人	0.16	0.16	0.18
	人件費 B		円	1,030,720	1,035,200	1,588,680
総事業費 A＋B		円	3,730,720	7,628,200	5,987,680	
市民 1 人当たりコスト		円	88	180	142	

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	引き続き森林の施業集約化等に取り組む者を支援していく。						

